

## 経済問題を考えるための基礎力を育てる授業

公民 現代社会 普通科・理数科 第1学年

石川県立七尾高等学校・教諭

### 1 事例の概要

市場とは買い手と売り手が自由に売買を行う場であり、自由競争の結果、価格は需給の一致する均衡価格に落ち着く。このように価格には需給関係を調節する「自動調節機能」があり、これを通じて社会全体の資源が最も効率的に配分される、というのが市場経済のしくみであり、資本主義経済の中核をなすものである。しかし、現実の経済は理論通りではない。原油価格等の異常な高騰やアメリカ発の金融危機により世界が厳しい不況に見舞われていることは、改めて市場経済について考えさせるきっかけとなっている。本校の生徒も現在の経済情勢に関心を持ち、進路選択に際して不況に強いといわれる大学・学部や職業を希望するなど進路選択の際に敏感に反応している者もいる。ただし、このような経済問題が発生する理由や解決策まで考えが及んでいる生徒は少ない。

『高等学校学習指導要領解説・公民編』の現代社会では、現代の経済社会と経済活動の在り方について、「現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き・・・＜中略＞・・・公害の防止と環境保全について理解させるとともに、個人と企業の経済活動における社会的責任について考えさせる」としている。市場経済が自由放任主義のもとで展開された結果、「市場の失敗」といわれる市場の寡占化による消費者の不利益や企業の倒産による貧富の差の拡大、公共財の不足や公害・環境破壊などの様々な問題が発生したことは歴史上明らかである。その反省の上に立って、企業の社会的責任や、調整役としての政府の役割などが求められている。

このように、市場経済のしくみとその限界について学習することは、以後の現代社会の学習内容の前提となるものであり、公民科の目標である「良識ある公民として必要な能力と態度を育てる」際に欠かせないものとして学習活動を展開した。

### 2 実践内容

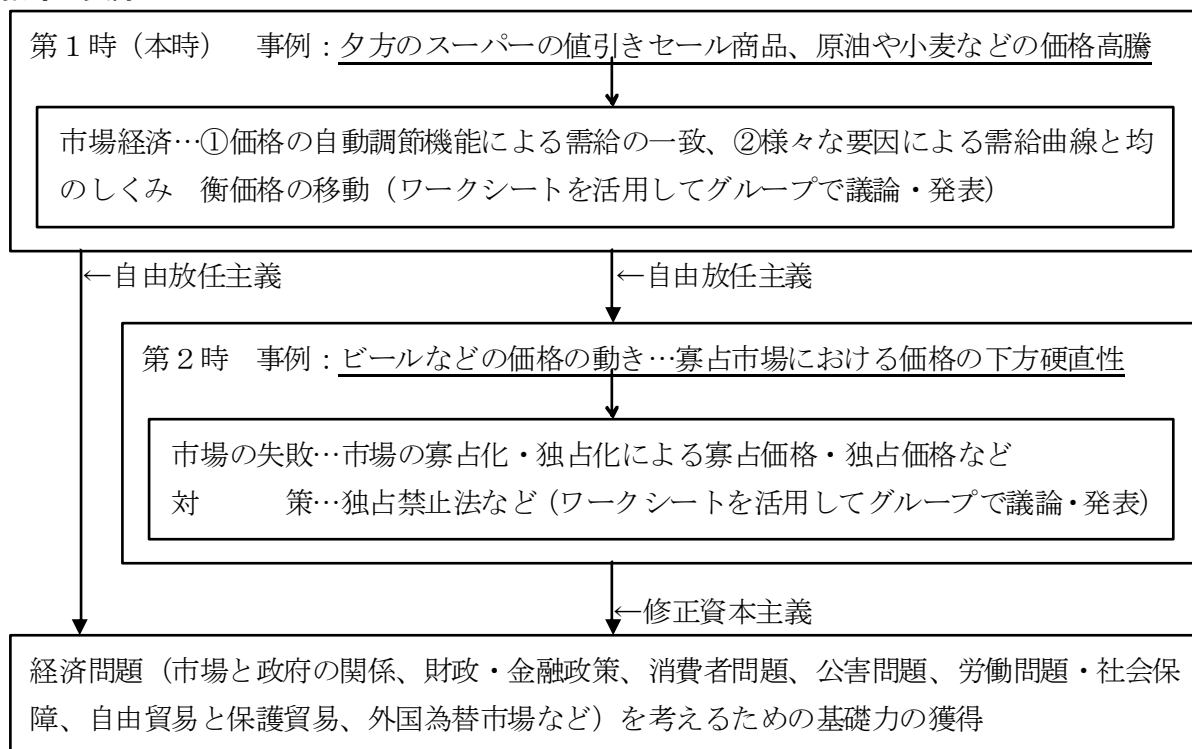
#### (1) 単元の見どころ

- ① 市場経済における「価格の自動調節機能」や様々な要因によって需要・供給曲線が移動し、均衡価格も変化することを理解し、その知識を身に付けている。
- ② 「市場の失敗」に至る経緯を理解し、市場経済が自由放任主義のもと企業の生産と供給だけに委ねられた場合に発生する様々な問題を見出し、多角的に考察している。

#### (2) 指導上の工夫点（視点）

- ① 市場経済における価格の役割に対して興味関心を高めるために、値引きシールが貼られた商品（実物）を用意する。
- ② ワークシートを活用して、様々な要因により需要・供給曲線や価格がどのように変化するかを考察させる。それによって、「価格の自動調節機能」や、「市場の失敗」に至る経緯とその結果発生する問題について理解を深め、経済問題を考える基礎力を育てる。
- ③ 既習事項をもとにしてグループ（1班6～7人）で課題に取り組む場面を設け、理解度や知識量の差を補いながら多角的に考察したり、情報の共有化を図ることができるようにする。

### 3 指導の実際



C-1 指導案

C-2 ワークシート

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

- ① 導入時に、実物教材として「半額」の値引きシールが貼られたお寿司のパックを提示したところ、生徒の興味・関心を大いに引き、需給(売買)と値段の関係について意識させる良いきっかけとなった。
- ② 「需給の一致したところが均衡価格」と単純に覚えている生徒に対して、ワークシートを活用して均衡価格以外の場面で需給曲線の示している状況や、価格以外の要因で需給曲線が移動し、価格が変化することを考えさせることで、市場経済のしくみに関する知識・理解が深まった。
- ③ 応用的な課題の場面において、グループで取り組ませることで、本単元を得意とする生徒の考えを参考にして、苦手とする生徒も考えることができ、授業に対する参加度を高めることができた。また、プロジェクター等の機器を活用することで、発表がしやすくなり情報の共有化を図ることができた。

#### (2) 課題

- ① 価格以外の要因で、需給曲線が移動し価格が変化することを考える場面で、「所得が上昇した時の需要曲線」や「原材料が値上がりした時の供給曲線」の移動は生徒にとってイメージしやすかった。しかし、「技術革新によって生産性が向上した時の供給曲線」や「ライバル会社の新規参入があった時の供給曲線」の移動については、条件の意味を理解し、それによって起こる変化を具体的にイメージすることが難しい生徒がおり、指導の際に工夫が必要である。
- ② グループ学習で活発に意見交換がされている班とあまり活発でない班があった。少人数のグループ編成は一人一人の活躍の場を増やすが、集団をまとめリードする生徒がいないとなかなか機能しない。グループ編成の工夫や議論の仕方に関する指導が必要である。